

## 総括評価票における評価区分及び判定方法

①評価区分 ※（ ）内は《総括》における評価に用いる点数

A（5点）：要求水準を大幅に上回る水準で管理運営がなされている。

（提案書、協定書等を上回る水準）

B（4点）：要求水準を上回る水準で管理運営がなされている。

（提案書、協定書等の水準）

C（3点）：概ね期待通りの水準で管理運営がなされている。

（仕様書等の水準）

D（2点）：要求水準を一部分下回る水準で管理運営がなされている。

（仕様書等を一部分下回る水準）

E（1点）：要求水準と比べて不十分な状況である。

（仕様書等を大幅に下回る水準）

②《総括》における評価

A：平均点（評価基準の合計点を項目数で除した数値）が

4.6点以上、かつ、全ての評価基準において2点以下がない。

B：平均点（評価基準の合計点を項目数で除した数値）が

3.6点以上、かつ、全ての評価基準において1点がない。（上記以外）

C：平均点（評価基準の合計点を項目数で除した数値）が

2.6点以上3.6点未満、かつ、全ての評価基準において1点がない。

D：平均点（評価基準の合計点を項目数で除した数値）が

1.6点以上2.6点未満、かつ、全ての評価基準において1点がない。

E：平均点（評価基準の合計点を項目数で除した数値）が

1.6点以下、または評価基準において1点がある。

③「総合評価」における評価

A：《総括》がすべて「B」以上であり、かつ「A」が2つ以上である。

B：《総括》がすべて「C」以上であり、かつ「C」が1つ以下である。

C：《総括》がすべて「D」以上であり、かつ「D」が1つ以下である。

D：《総括》がすべて「D」以上であり、かつ「D」が2つ以上である。

E：《総括》に「E」が含まれている。

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	勝幡児童館	指定管理者名	社会福祉法人 さくら会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	概ね事業計画に沿った運営をすることができた。必要な報告は適宜行った。			
施設所管課の評価	小学校をはじめ、関係機関との連絡を密に行っており、適切な連携体制がとれている。キッズノートのアプリを活用し、ITを使った保護者等との速やかな連携体制が整っている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2 内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	子どもたちにとって魅力的なイベントを企画し、参加者を増加させることができた。子育て支援については、年々入園児の低年齢化が進み乳幼児親子の利用率は減少傾向にある。		
	施設所管課の評価	コロナ禍の中、子ども達が毎月、大型トランポリンやバランスボールなどの遊具に触れ楽しむことで、体力増進につなげることができている。 保護者からのアンケートでは、全体的な満足度が90%を超え、高評価となっている。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	B	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	B	C
	指定管理者の自己評価	概ね問題なく執行されているが、人件費の増加が懸念される。		
	施設所管課の評価	経理事務は、概ね適切に執行されているため、評価はCが妥当である。 収支予算書の範囲内で予算が概ね適切に執行され、収支状況も妥当であるため、評価はCが妥当である。 エアコンの温度設定を適切に調整するなど、経費削減に努めているため、評価はCが妥当である。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）は達成されたか	D	C
	目標項番②	目標項番②（イベント数/参加者数）は達成されたか	B	B
	目標項番③	目標項番③（体力増進活動数/参加者数）は達成されたか	B	B
	《4 総括》		C	B
	指定管理者の自己評価	目標項番①年間来館者数の目標まであと一歩だったが、目標項番②のイベントと目標項番③の体力増進活動は目標を大きく上回ることができてよかった。		
	施設所管課の評価	目標項番①年間来館者数の目標まであと一歩だったが、コロナ禍の中でも子どもが楽しめるよう、多彩なイベントを企画し、子どもが参加しやすい環境づくりに努めている。 目標項番②事業参加者数の増加率が前年比約25%と成果を上げている。 目標項番③子どもの基礎体力づくりの企画を行い、体力増進に貢献している。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)		
		概ね目標どおりの成果をあげることができた。		
		(施設所管課の評価)		
		高学年を中心に意見を出し合う子ども会議を開催し、施設内での過ごし方やルールづくりに、その内容が活かされている。 ボランティアや地域の方々の協力を得ながらイベントを開催し、地域の連携やつながりを深めることができています。		

書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	草平児童館	指定管理者名	社会福祉法人 西川端保育園
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	適切な業務管理（市担当課、小学校、運営法人本部などへの必要な報告、連携、協議と職員間の有機的連携と利用児童、生徒、保護者等の協力）により、円滑に事業運営が出来た。			
施設所管課の評価	小学校や市子育て支援課、保護者など、関係者間での連絡調整、連携が適切に行えている。法人の所管施設間での調整も緊密であり、効率的な施設運営ができています。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	環境維持を目的に日常的に施設全体について点検整備に努めた。危険性、緊急性があると判断したものについては、迅速に市担当課と連携した。また常に利用者の視点に立って活動内容を計画立案すると共に終了後、その振り返りを図ったことなどにより有効、円滑に事業を展開し、利用者の高い満足度を得ることが出来た。		
		施設所管課の評価	日頃より、施設設備に危険箇所がないか確認が行われており、利用者の視点に立った取組ができています。保護者からのアンケートにおいても、約8割の方から満足されており、適切な施設運営ができています。。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	常に支出状況を確認しながら方向性をもって運営に努めたことにより適切な予算の執行が出来た。日常的には可能な限り節約に留意しつつ有効な管理、運営を行うことを目途とした。		
		施設所管課の評価	日常的に節約に留意し、適切な予算の執行がされている。網戸の部品を購入するなどし、職員自ら部品交換することで、修繕費用を抑え、経費の節減に努めている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（登録児童数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（年間来館者数）は達成されたか	C	B
		目標項番③	目標項番③（利用者の満足度）は達成されたか	C	B
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	B
		指定管理者の自己評価	児童クラブの登録児童数は、目標人数を上回っている。利用者の満足度は児童、保護者共に高く目標は概ね達成されていると言える。		
		施設所管課の評価	施設の利用者は、前年比約18%増加し、多くの児童等に利用されている。アンケートでは、児童の約97%が楽しそうに通っていると回答されており、利用者から満足度の高い管理運営がされている。		
5	総合評価	「1 実施体制」「2 内容・水準」「3 収支等」「4 目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	法人本部(西川端保育園)、西川端児童館と人的、物的の両面に亘って有機的連携をとりながら、高学年児童を主体とした自主的活動能力の育成を目的としたものを始め、自然への働きかけを行いつつ進めたサークル活動を含めて毎日、積極的な活動を展開することができた。		
		(施設所管課の評価)	季節に応じた多彩なイベントが毎日開催されており、利用者を楽しませる工夫がみられる。子どもたちの意見をイベントや各種サークル活動に取り入れ、子どもが主体となった取組が行われている。		

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	佐屋西児童館	指定管理者名	社会福祉法人 美和多福社会
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	コロナウィルス集団感染防止に配慮しつつ、法令規則等を遵守し、適切な人員配置に心がけ、安心・安全な児童館運営に努力した。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員などの人員配置が良好である。管理日誌には、毎日遊具の自主点検記録など、適切に記されており、安全管理が徹底されている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	B	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	コロナウィルス集団感染防止に配慮しつつ、法令規則等を遵守し、適切な人員配置に心がけ、安心・安全な児童館運営に努力した。		
		施設所管課の評価	こまめに修繕を行い、施設の維持管理が適切に行われている。 新型コロナウイルス感染症対策が適切に行われている。 職員が協力しあい、省エネルギーの推進に取り組んでいる。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	児童館の適切な運営と質の向上のために努力を続けてきた。適切な収支状況である。		
		施設所管課の評価	予算が適切に執行されている。 コスト削減に努め、適切な経理事務が行われている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベント数/イベントの参加者数）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（児童クラブ登録児童数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	コロナウィルス集団感染防止に配慮しつつ、児童・親子が気軽に利用できる楽しい施設を目標にして取り組んできたが、その目標はほぼ達成できた。また、子ども達の遊び場、自主活動の場としても十分に機能している。そのため、子ども達の自主性、社会性を育てることに貢献することができた。		
		施設所管課の評価	目標はすべて達成できている。検温、手指消毒等を徹底することで、施設での集団感染なしを達成している。一人一人の児童に丁寧に対応しながら、子どもの意見を聞いている。 児童クラブの受け入れに協力し、保護者が安心して働くことができるよう貢献している。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項		(指定管理者の自己評価)		
			コロナウィルスの感染者数が減少に向かっているが、今後も集団感染防止に対する配慮と対策に注意したい。また、児童クラブの利用者の増加、施設の年代経過に伴う老朽化対策などが課題である。		
			(施設所管課の評価)  コロナ禍で、児童の運動やコミュニケーションをとる機会が減る中、楽しみながら体を動かすイベントを新たに実施したり、子育て親子の交流するイベント回数を増やしたり、必要に応じた工夫がみられる。 優先順位をつけながら、老朽化対策に取り組む必要がある。		



書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	市江児童館	指定管理者名	社会福祉法人 市江福祉会
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	職員の人員体制も適格で、障害児児童に対応できるように職員体制を整えた。その結果、大きな問題もなく過ごすことができた。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員など有資格者を多く配置し、適切な人員体制のもと運営ができています。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	B	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	



2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	B
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	施設の設備等に関しては、定められた規定通り点検を行い業務ができた。		
		施設所管課の評価	施設点検を行った結果をもとに、早期に自発的に修繕を行っている。 アンケートでは、職員・指導員の対応、全体的な満足度も利用者からかなり高く、良好な管理運営がされている。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	おおむね適正に出来た。		
		施設所管課の評価	日常的に節約に留意し、適切な予算の執行がされている。 新型コロナウイルス感染症対策の経費も有効に執行されている。		
4	目標管理	目標項番①	目標順番①（1年間の利用者数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標順番②（イベント数・イベント参加者数）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標順番③（児童クラブ登録者数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	おおむね目標を達成することができた。		
		施設所管課の評価	手指消毒や検温、換気を徹底し、すべての目標を達成している。 コロナ禍に配慮しながら、地域との交流を通して、様々なイベントが開催できている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		(1) コロナ対策に力を入れ、大過なく運営することが出来たのは評価できる。(2) 野菜を育てることにより、児童の食育に役立った。(3) 無線で児童の出欠席を確認することによって、児童の安全をはかられた。			
6	特記事項	(施設所管課の評価)			
		ジャガイモやいちごなど季節の野菜を育て、収穫も児童が行い、食育に力を入れた運営がされている。 小学校と児童館との距離があるため、職員自ら児童を出迎えに行き、児童館に残った職員と無線で密に連携を図り、児童の安全確保ができています。 ボランティアや地域の方々の協力を得ながらイベントを開催し、地域の連携やつながりを深めることができています。			

書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	永和児童館	指定管理者名	れんこん村・技研共同体
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	D
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
	財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法令等に基づき施設点検を行い、個人情報の漏洩防止などについても対策を講じて運営した。外部研修後の共有とともに、子どもの行動理解や適切な対応ができるよう内部研修も行った。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員等、資格を有する職員が確保されている。外部研修に積極的に参加し、研修の成果を情報共有することで、職員全体の資質向上につなげている。事故報告は、今後遅延なく報告する連絡体制を確保すること。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	協定書、仕様書等に基づき、適切に運営した。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、消毒・換気に配慮しながら、行事や児童クラブ運営を行った。事故報告が遅れた、今後は遅延なく報告する。		
	施設所管課の評価	手指消毒や換気等、新型コロナウイルス感染症対策が徹底されている。子ども会議を開催し、イベントや施設でのルール等を子ども同士で話し合うなど、子どもの自主性を尊重した取組がみられる。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	経費節減に努め、適切に執行した。 無駄な照明の点灯がないか、冷暖房の設定温度が適正かなど、全員が意識することで前年に比べ使用量が減少した月が多かった。また、子どもたちも省エネを意識できるよう働きかけた。		
	施設所管課の評価	光熱水費など、無駄な経費削減のため、子どもたちの協力を得ながら取り組むことができている。 利用者全体で協力しながら、省エネにつなげられるよう努めている。			
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（乳幼児親子の初来館複数回利用組数 15）は達成されたか	B	B
		目標項番②	目標項番②（初めて子ども企画に携わる子の人数 15）は達成されたか	D	C
		目標項番③	目標項番③（小学校高学年から高校生までの来館者数 1600）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	初来館後、引き続き遊びに来る乳幼児親子が多く、居場所として選んでもらえていることがわかる。毎日のように来館する親子もあり、これからも「来て良かった」「また来たい」と思えるような運営をしていく。 子ども企画は同じ子が繰り返し企画することが多く、新しい子を巻き込むことができなかった。誰でも企画にチャレンジできるよう関わり方に配慮していく。 高学年以上の来館者は安定している。今後も年長児が来館しやすい環境を整えていく。		
		施設所管課の評価	目標項番①においては、公式ラインを活用したり、保護者等へ呼びかけをこまめに行うことで、新規のイベント参加者の増加につなげている。また、助産師に相談する機会を設けたり、関係機関と連携することで、子育て家庭の不安解消に努めている。 目標項番②においては、目標には少し及ばなかったが、子どもに企画の趣旨説明を丁寧に行い、積極的に子どもが参加しやすい環境づくりに努めている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	コロナ禍前の状態に近い運営を行うことができた。子ども主体の運営を常に心掛け、他市からの視察も受入れた。子ども家庭庁の発足により、今後さらに子どもを真ん中にした運営が求められる。現状に甘んじることなく他館の取組も参考にしながら児童館運営に努める。		
		(施設所管課の評価)	子ども主体の運営がなされ、遊びを通じて成長できる環境が整っている。 特に中高生の利用が比較的多く、すべての年代を通して、児童館が利用されている。 地域との交流も行われ、地域の協力を得ながら効果的に事業展開が実施されている。		

書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	西川端児童館	指定管理者名	社会福祉法人 西川端保育園
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B	B
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	消防計画等の法令に基づき月1回以上の避難訓練や消防本部の立会いのもと総合避難訓練（通報・消火・避難）を年2回以上実施。さらに、未就学児の親子を対象とした避難訓練（火災・地震）も年に数回実施。緊急時の訓練がしっかりできた。（福）西川端保育園の財政状況は10年以上自己資本比率が92%・93%を維持している。			
施設所管課の評価	避難訓練など、非常時の訓練が適切に行われており、子どもの安心安全な施設運営が徹底されている。管理日誌等に業務に関する記録が詳細に記されており、管理記録が適切に整備されている。下駄箱などの表記方法を見直すなど、個人情報の取り扱いに配慮した施設運営がなされている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	B	B	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	常に利用者及び保護者の意見を聞きながら諸活動の計画・見直しを図っている。特に自主事業の実施・展開においてはマンネリ化せずに様々な企画立案を行っており、児童・保護者からも「児童館利用者アンケート」等を通じて高い評価を得ている。事業開催案内を一部の事業についてはパンフレット等を独自に作成しクラブ員全員に周知している。		
		施設所管課の評価	子どもが主体となる子ども会議を開催し、施設内でのルールや活動内容に、子どもの意見を取り入れた運営がされている。また、事業開催案内の一部の事業をパンフレット等で独自に作成し周知するなどし、事業の開催案内を適切に行っている。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	委託している会計事務所と連携しながら、出納簿等の経理書類を適正に執行・管理している。また、会計事務所とは常に限られた予算の中で様々な事業展開を行い、予算収支状況や経営の協議を行い適正な予算執行ができた。		
		施設所管課の評価	会計事務所と協力し、適切に経理事務が行われている。収支状況は、概ね予算どおり執行されているため、評価はCが妥当である。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）は達成されたか	B	B
		目標項番②	目標項番②（イベント数・参加者数）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（児童クラブ登録児童数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	R4年度も全体的な新型コロナウイルス感染の影響を受けながらも、毎日の消毒等衛生対策に万全を期して多くの事業を実施し、年間来館者数は、目標値の11,000人の132.7%と大きく上回ることができた。		
		施設所管課の評価	令和4年度は、児童館だよりとは別にイベントチラシを作成し、周知を図ることで、大幅な利用者増につなげることができた。新たな試みが成果をあげている。		
		5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	コロナ禍の中ではあったが、設定した目標を達成することができた。また、コロナ感染予防対策も職員の危機管理意識のおかげでしっかりできた。保護者の要望、クラブ員の要望に耳を傾け活動することができた。		
		(施設所管課の評価)	コロナ禍の中、親子スポーツ教室など、屋外で過ごす機会を増やしたことで、運動不足の解消と体力づくりにつなげることができた。地域の団体と定期的に交流し、地域の資源をうまく活用できている。地域との触れ合いを深め、地域に根ざした児童館運営を心がけている。毎日イベントを開催し、季節感も取り入れ、魅力ある事業内容となっている。		

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	北河田児童館	指定管理者名	社会福祉法人 愛西市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	安定した実施体制で滞りなく運営できている。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員など、資格の必要な職員を数多く確保し、適切な配置ができている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	感染症予防対策に取り組みながら、様々な事業を積極的に展開することができた。		
		施設所管課の評価	コロナ禍で中止していた児童館まつりを参加人数を分散させ、感染症予防対策に取り組みながら、清林館高校や佐織中学校と連携して行うなど、コロナ禍ならではの工夫した事業を展開できている。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	節約に向けて取り組みながらも、予算の範囲内で利用者にとって魅力ある行事に向けて予算の執行を行った。		
		施設所管課の評価	時間とともに利用人数が変わるため、利用人数にあった部屋を使用するなど節約に努めている。法人本部と連携を取りコスト削減に努め、適切な予算の執行ができています。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベントの参加者数）は達成されたか	C	B
		目標項番③	目標項番③（親子教室登録者数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	①目標10,000人→10,592人②目標2,500人→2,946人③30組→39組と全ての目標値が達成された。		
		施設所管課の評価	手指消毒や検温、換気を徹底し、すべての目標を達成している。子ども会議を行い、参加しやすい事業や取組みを行っている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		乳幼児親子や一般児童の来館も徐々に増え、児童館に活気が戻りつつある1年だった。悩みを持つ母親や児童の話に耳を傾け、寄り添うことを心掛けて日々の運営を行った。			
		(施設所管課の評価)			
		アミューズメントクラブを立上げ、子どもたちだけで出し合った意見を、大人が寄り添う形でイベントを行い、子どもの意見を尊重した事業が展開できている。グラウンドゴルフや卓球など高齢者やボランティアなど地域との交流を積極的に行い、地域に開かれた児童館づくりを心掛けている。子育てに悩みを持つ母親や児童に寄り添い、育児について気軽に話し合いのできる環境づくりができています。			



## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	立田北部子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人 美和多福社会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法定、規則等を厳守し適切な人員配置を行い、安心、安全なセンター運営に努めた。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員など、必要な資格の職員を適切に配置できている。また、教員や保育士などの資格を有する職員が多いだけでなく、児童クラブ事業の経験も豊富な職員も多い。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	B	B	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	B
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	昨年に引き続き集団感染症防止に努めながら、センターだよりなどを通じて利用者への情報提供をするとともに活動内容を工夫して安心、安全に努めた。		
		施設所管課の評価	イベントを終えたあとなどに、子どもから意見を聞いたりして、今後の運営に反映している。アンケートでは、保護者からの全体的な満足度が90%以上であり、良好である。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	センターの適切な運営との質向上のために努力を続けてきた。適切な収支状況である。		
		施設所管課の評価	予算の範囲内で執行されており、適切な予算管理ができています。電気をこまめに切るなど、経費の縮減に向けた取組みが適切に行われている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベントの回数・参加人数）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（児童クラブ登録人数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	児童、親子が気軽に利用出来る楽しい施設を目標にして取り組んできたが、その目標はほぼ達成出来た。		
		施設所管課の評価	イベントの開催日を土曜から平日に多くとり、見直しをしたことで、特に親子教室の利用者増につなげることができた。前年度に比べ10%以上、利用者が増えている。		
		5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	集団感染症防止に配慮と対策を行いながら、児童クラブ利用者、一般利用者のさらなる増加に努めた。親子教室に参加する育児相談や関係機関との繋がりを強めて信頼関係を築けた。今後もより一層の資質向上に努めていきたい。		
		(施設所管課の評価)	双子の家族を対象にした「ふたごっちゃんクラブ」を独自に開催することで、多胎児家庭特有の不安や悩みの解消に努めている。 デイキャンプの開催日を7月から3月に変更するなど、常に利用者が参加しやすくする取組を行うことができています。悩みを抱える親子に寄り添い、職員との信頼関係の構築ができています。		

書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	立田南部子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人 美和多福社会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
	財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	法令・規則を遵守し、適正かつ順調に管理運営した。十分な人員を配置して、事業を実施し、感染症防止対策も充実させた。職員打ち合わせに力を注ぎ、集団指導の方法や個別児童の効果的な指導の在り方を共有するなど、職員の指導力向上に努めた。小学校及び児童の保護者との連携を強化し、事業を円滑に実施することができた。			
施設所管課の評価	放課後児童支援員など、資格の必要な職員を数多く確保し、適切な配置ができています。職員同士の情報共有が徹底されており、安全管理の向上が図られている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	B
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	子ども詩吟、絵画教室、学童及び親子体育教室、ヨガ教室など事業内容の充実を図っている。新型コロナウイルス感染症の防止対策に努めた。子どもの心身の健康状況の把握に努めた。児童の交友関係の変化やいじめ等の有無に注意を払っている。過去の利用者等からの相談にも親身になって対応し、解決のために尽力した。中高生の居場所作り事業（小中高生のスポーツ交流会）を立ち上げて実施し、一定の成果をあげた。		
		施設所管課の評価	小学生、中学生、高校生を対象とするスポーツ交流会を開催し、中高生の居場所づくりだけでなく、異世代間の交流やコロナ禍の中、運動不足になりがちな子どもたちの体力増進にもつなげ、サービス向上に寄与した。アンケートでは、保護者からの全体的な満足度が90%を超え、良好である。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、施設の適切な運営に努めた。3密の回避、手指の消毒、施設各所の消毒の徹底、部屋の換気など利用者及び職員の協力を得てその責務を十分に果たすことができた。遊具の修繕を市で実施していただいたこと、また物品調達用補助金の支給、処遇改善手当の支給についても有り難かった。		
		施設所管課の評価	予算が計画的に執行されており、適切な運営ができています。新型コロナウイルス感染症対策の経費も有効に執行されている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館者数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベント数/イベントの参加者数）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（児童クラブ登録児童数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	コロナ禍のなか、感染防止対策を徹底しながら、事業規模、内容を工夫し、児童・親子が気軽に利用できる楽しい施設を目標にして取り組み、その目標は達成できた。児童クラブの活動を通して、子どもたちの自主性、社会性を育むことができた。相談活動も機能した。		
		施設所管課の評価	感染症対策に努めながら、目標を達成している。目標設定は検討を要する。参加者の規模や年齢等に応じて工夫し、参加しやすい取組みを行っている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	施設の経年劣化に伴う屋根・床の補修、改修など経費を伴う大きな課題がある。感染症防止対策に努めながら、施設利用者のニーズに応えた施設運営を図った。スタッフのキャリアを活かして、相談活動、中高生の居場所作り事業を実施した。小中高生スポーツ交流会を今後さらに充実させたいと思っている。		
		(施設所管課の評価)	職員と児童及び保護者との信頼関係構築に努め、また、学校等との関係機関と連携することで児童の心のケアに繋げている。職員の特技を活かしたイベントを開催することで、適材適所の事業展開ができています。小中高生スポーツ交流会（年3回実施）をはじめ、新たな試みに積極的に取組、さらなる子育て支援の充実を図っている。		

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	開治子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人 八開福祉会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	概ね期待通りの水準で管理運営している。			
施設所管課の評価	監理日誌に毎日の出来事を詳しく記録し、適切に整理されている。毎日、その日のヒヤリハットなことがあれば、記録に残している。また、職員間で情報共有し、危険防止対策の徹底を図っている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	コロナウイルス感染症対策に留意し適切に行った。		
		施設所管課の評価	毎月遊びについてテーマを決め、テーマに沿ったイベントを企画し、工夫をしている。子どもの年齢に応じた遊びを考え、さらに前年よりも回数を増やし、利用者増につなげている。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	人件費は、職員のモチベーションにつながるため削減対象にはしないことを基本としている。令和4年度は電気料金の高騰に対応するため、契約先を少しでも安価な東邦ガスへと切り替えた。その他、事業内容に支障のないよう考慮しながら、経費削減に努めた。		
		施設所管課の評価	電力会社を変更し、電気代抑制に取り組むことにつなげている。ペットボトルや牛乳パックなどの廃材を再利用した工作イベントを開催することで、経費削減を図っている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数）は達成されたか	C	B
		目標項番②	目標項番②（行事開催数）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（児童クラブ登録者数）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	今年度は、コロナウイルス感染対策による行事等の中止はなかった。そのため前年度に比べて利用人数が増え行事も開催できた。		
		施設所管課の評価	子どもの年齢に応じた遊びを考え、施設利用者数は、前年比約45%増と、目標を大きく上回っている。		
		5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)	放課後児童クラブでは、集団生活のなかではあるが、児童が遊びなどを自己選択しそして自己決定したうえで過ごしている。子育て支援事業においては、臨床心理士を交えて子育てにまつわる様々な話を聞きながら子育ての不安感や悩みに丁寧に対応した。行事の内容も母親が参加したくなるような内容を考えて開催した。		
		(施設所管課の評価)	月2回臨床心理士による相談会を開催し、子どもの発達に関する不安、悩み等の解消に貢献している。特に、保護者等のストレス軽減を図るため、心理療法を取り入れたイベントに力を入れ開催している。普段、家事や子育てに追われる家庭の気分転換につなげる取組が積極的に実施されている。		

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部 子育て支援課（内線：122）

施設名	八輪子育て支援センター	指定管理者名	社会福祉法人 白百合福祉会
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	資格や経験のある職員を確保することができた。			
施設所管課の評価	避難訓練等を毎月定期的に行い実施し、訓練内容を子どもが楽しみながら参加できるよう工夫がされている。また、時節に応じた内容が実施されている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	



2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	B
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	できる限り事業計画に沿って行った。		
		施設所管課の評価	コロナ禍でも楽しむことができるイベントを企画することで、安心して楽しむことができている。保護者からのアンケートでは、全体的な満足度が高く、良好である。特に、職員の利用者に対する接し方や雰囲気づくりについて、利用者から支持されている。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	節約できるところは努力し、経費を抑えた。		
		施設所管課の評価	牛乳パックや空き箱を使った工作イベントを開催することで経費の節約に努めている。利用者の協力を得ながら、光熱水費の経費削減に取り組んでいる。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（年間来館数）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（イベントの参加数/1回）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（児童クラブの利用数/1か月）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標達成できるよう努めた。		
		施設所管課の評価	年間利用者数が増加し、目標を達成できている。はるばる遠方から参加を楽しみに来館する利用者も多く、リピーターも多い。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		子育て支援活動では、新規利用者の方も増え、そしてリピーターとして繰り返し利用される方が増えた。子育て支援、児童クラブともに親御さんや子どもの意見を取り入れたあそびを展開し、その結果満足しているという声も多数頂いている。			
6	特記事項	(施設所管課の評価)			
		子どもの自主性を尊重する姿勢やその雰囲気づくりが、利用者のアンケートなどから感じられる。子どもから意見を聞き、やりたいことを実現させることで、利用者から高い信頼を得ている。また、地域のボランティアの人を採用し、地域の子育て支援のネットワークづくりに生かしている。			

書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：健康子ども部子育て支援課（内線：121）

施設名	永和保育園	指定管理者名	社会福祉法人八開福祉会
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日〔3年〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
	必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
	事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
	外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C
1 実 施 体 制	指定管理者の 自己評価	<p>3年目は常勤保育士を増員させ、2年目よりは人的余裕のある中でのスタートとなった。しかし、5月に入り急遽フルタイムパート保育士の退職申し出があったため、その後のクラス担当保育士の採用に苦慮をした時期もあったが、年間通して配置基準よりも余裕のある人員配置を保つことができた。保育内容については、年度当初に全職員で、これから永和保育園が向かおうとしている保育についての研修が受けられたことで、その後の保育にプラスの効果があった。不適切保育のニュースが流れ、保護者だけでなく保育者自身も不安を感じていたが、「丁寧な保育」を心がけるという年度当初の基本に立ち返ることで、不適切保育の防止へとつながっていった。また、令和5年度から始まる社会福祉法人八開福祉会永和保育園としての保育の在り方について保護者説明会で実際に伝えることで、少しでも安心して預けていただくことができるように努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防に配慮しつつも、できる範囲でこれまでの2年間見送っていた行事を行うことができた。中でも、初めて祖父母に参加していただけたことで、喜びや感謝の言葉をかけていただくこととなった。</p>	
	施設所管課の 評価	<p>保育の質を確保するための人員体制が取られている。新たな業務支援システムの導入などにより、職員のワークライフバランスを考慮した、より働きやすい職場づくりへの取り組みが見られる。日頃から保護者や市、関係機関等との連携が丁寧かつ適切に行われている。今後もより安定した施設運営が継続できるように人員体制や雇用条件等の働き方改革への取り組みも継続して実施されたい。</p>	

2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	今年度も昨年度に引き続き、全職員で「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を利用したセルフチェックを行った。また、保護者説明会で話す内容に社会福祉法人、開福社会の理念（今後の保育で大切にしていきたい8つのこと）について、事前に職員向けにプレゼンテーションを通して伝えた。その内容を理解して保育を行っていれば、不適切保育は起こさないような保育環境が生まれるはずである。 令和4年度も、年度末に市と合同で行った利用者アンケートは、記述されている内容を取りまとめ、全職員で目を通した。それぞれの保護者の思いを心に留めながら、今後の保育を行っていききたい。			
施設所管課の 評価	施設管理について、必要な修繕（防水補修等）や安全対策の充実（防犯カメラの設置）を図るなど、適切に行われている。 利用者からの苦情等は特に無く、多様な意見に対して、丁寧に耳を傾け対応している様子がうかがえる。利用者アンケート調査結果からは、保護者が園運営に対しておおむね満足していることがうかがえる。今後は、利用者の意見を大切にしつつも、施設としての方針を明確にし、より円滑に園運営が進められることを期待する。			
3 収 支 等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費削減	経費が削減され、またはその削減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金を活用して、子育てとの両立をする職員が年度付与されている有給休暇とは別の有給休暇を取得できるよう支援した。 経理に関しては、法人事務職員の雇用により役割分担すること、利用している会計ソフトを取り扱う業者に専属会計士による決算時の会計チェック作業を依頼することで、経理事務がより適切に行えるよう努めた。 令和4年度も緊急修繕・給食材料や光熱費の急激な高騰化により、経費削減に努めたものの資産積立を行える余裕はできなかった。		
	施設所管課の 評価	専用口座、通帳を備えるとともに経理システムを導入し、適切に経理事務を行っている。 収支状況については、物価高騰に対応した経費削減に努めるなど、特に問題は無く妥当である。		

4	目標管理	目標項番①	目標項番①（入所児童数 100 名）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（職員の外部研修受講回数 1 名 3 回）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（ドキュメンテーション掲示回数 24 回以上）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の 自己評価	目標①は年度途中で達成することができた。 目標②は、キャリアアップ研修の受講・WEB 研修の受講等を中心として達成することができた。 目標③は、職員室前にドキュメンテーションを貼り出すことで、保護者がじっと見入っている姿や親子で会話する姿見られた。最終的には、卒園式の会場付近に 1 年間でまとめたものを掲示して、思い出を振り返っていただいた。		
施設所管課の 評価	計画的に職員の教育・研修の機会を確保し、職員の資質向上が図られている。 ドキュメンテーションの作成・掲示は、日頃の保育の様子を知りたいという保護者のニーズに応える有効な取組で、好評を得られているとのことなので、取組を継続されたい。				
5	総合評価	「1 実施体制」「2 内容・水準」「3 収支等」「4 目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>令和 5 年 3 月 31 日を以って、3 年間の指定管理期間を無事終えることができた。職員と子ども、職員と保護者、職員と職員がまほ初顔合わせの状態スタートし、同時に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、この先どうなっていくのだろうかと不安にかられたこともあったが、毎日を目の前の子もたちと、そして保護者と誠意をもって接することを心がけて日々を積み重ねてきた。その積み重ねが少しずつお互いへの信頼や尊重へとつながり、今日に至っていると感じる。焦らず、諦めずに、子どもたちのよりよい育ちを支えようと保育に向き合ってきた職員、そして様々な形で協力・支援をしていただいた保護者や関係機関のみなさまには、心より感謝している。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>指定管理期間3年間に於いて、保護者との信頼関係を築き、また、職員間の意思疎通や連携を磨き上げてきた様子がうかがえる。日々の様々な課題に対して指定管理者の組織力により園運営に大きな支障をきたすことなく適切な管理・運営が行われた。</p> <p>移管後も、保護者や市、関係機関等と連携を図りながら、常に児童にとってより良い保育となることを最優先に考えて、運営されることを期待する。</p>			

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票 (年間分)

施設所管課： 教育部 スポーツ課 (内線 371)

施設名	愛西市スポーツ施設	指定管理者名	株式会社 技研サービス
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年0ヶ月〕		

表か項目	評価基準	自己評価	所管評価	
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員体制：※ ( ) は要求水準</li> <li>親水公園総合体育館については、業務量も多く、体育館館長補佐2人(1人)及び夜間管理3人(2人)の増員体制を取って対応している。</li> <li>危険物取扱者等の有資格者を複数人確保している。</li> <li>親水公園総合体育館を始め3体育館の防火管理者は引き続き、それぞれ2名以上配置している。</li> <li>・今年からは愛西市スポーツ施設予約システムが導入、運用開始となった。</li> <li>・個人利用については新たに市内・市外料金が設定され、「市内料金適用証明書(身分証明書等の提示の必要)」を発行することとなった。</li> <li>・法令等遵守：職員全員が理解し、スムーズに対応できるよう、指定管理者独自の「料金早見表」や「諸問題に対する対応策をまとめた事例集」などを作成・常備し、利用者対応を図っている。</li> <li>・個人情報保護：個人情報を含む書類はロッカーに保管・施錠し管理している。監視体制としては抜き打ちで本社監査を実施するなど各施設において適正管理に努めている。また各体育館に書類廃棄用の高性能シュレッダー機を設置し、情報保護に努めている。</li> <li>・財務状況：昨年は緊急事態宣言による時短措置とそれに伴う運動場・学校体育施設の1時間還付対応、8～9月の学校体育施設の利用中止、市外団体や市外在住者の利用不可等あったが、今年度は通年で通常開館(場)をしたことでスポーツ施設等は約8.7%増、親</li> </ul>			

		水・佐織トレーニングでは約25.3%増となった。自主事業はスポーツ教室で約9.6%増と安定して推移しており、全体の利用金額は約9.0%の増収となった。		
	施設所管課 の評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策による利用人数制限の撤廃を実施した際に、国の宣言や市の要請に対して迅速な対処ができています。また、令和4年度より導入したスポーツ施設予約システムの運用に関しても予約変更手続きへの柔軟な対応ができていた。</p> <p>所管評価【B】の項目について</p> <p>(法令等遵守)</p> <p>条例・規則の整備、事例集等の作成により、職員全員が業務を円滑に進めるための体制が整っている。</p> <p>(個人情報保護)</p> <p>個人情報を含む内容の書類が利用者の目に触れないようにする意識、シュレッダーや複合機に関して、情報セキュリティ対策が高いものを設置することによる個人情報の処分の徹底ができています。</p>		
2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	B
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
	苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
指定管理者 の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理：月曜日が休日の場合は開館し、翌日を休館日とする（毎週月曜日休館）。スポーツ施設（学校体育施設を除く）2日前以降は、変更・取消・還付がないことを条件に当日まで申請・利用が可能（3日前までに申請が必要）。</li> <li>事故の未然防止策としては、施設巡回を毎日2回実施（独自の日常点検チェックシートに基づく）しており、危険な個所の早期発見などに努めている。</li> <li>親水職員が館内巡回時、倉庫内を確認したところ、移動式バスケットゴールの板面に亀裂が入っているのを発見し、危険性があることから速やかに修繕を行い利用に供している。</li> <li>利用者対応：利用者のサービス向上に向けて、予約システムマニュアルの作成など新たな業務実施の際には、職員の研修用や業務がスムーズに進むよう新たに作成している。</li> <li>事業運営：親水公園総合体育館及び佐織体育館トレーニングルームは、スマートフォンアプリ導入イベントを開催、利用回数に応じてプレゼント進呈するなど、利用者の満足度</li> </ul>			

	<p>向上やリピーター増に向けた取り組みを行った。</p> <p>新規事業としての「自然観察会」や山崎武司氏を招いての「熱血ベースボール教室」の開催に加え「あいさいさん祭り（さんさんゾーン）」のイベントを開催し、施設の魅力アップや利用促進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理：安全面からは警備員による各施設の巡回（夜間含む）や、本社専門技術者による点検等を行い、不具合等が見つければ、緊急性の高いものや基幹的なものなどを優先して修理等を行い、施設運営に支障が出ないように努めている。</li> <li>・苦情等対応：苦情については「速やかな対応」を第一に考えている。</li> </ul> <p>4件の苦情が寄せられたが、なかでも職員によるヒューマンエラーが起きた。今年度から実施している Web 申請された予約について、未チェックだったために運動場職員への連絡がされず、結果として利用団体がナイターを利用することができなかった。再発防止策がとられチェック体制と情報共有の確立を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況：今年度は利用制限等がなく通常開館（場）したことで、全体で約33千人・約9.8%の人数増、特に体育館では約11.4%増、学校体育施設で約13.1%増と安定した結果となった。</li> </ul> <p>特記事項として立田総合運動場はR5.3.31を以て指定管理業務から外れ、今後は（公財）愛知県サッカー協会による運営へ移行となった。</p>			
施設所管課の評価	<p>独自のマニュアルやチェックリストの作成により、職員全員がスムーズに業務を進められるように整備している。</p> <p>また、予約システムの運用については、運動場職員との連絡を密に取り、予約状況の確認を怠ることが無いように努めていただきたい。</p> <p>所管評価【B】の項目について</p> <p>（施設管理） 募集要項水準を上回る開館日・休館日対応ができています。</p> <p>（利用者対応） 予約システム業務について、マニュアルを作成しスムーズな業務対応となるような取り組みが行われていた。</p> <p>（事業運営） 新規事業やイベントに際する教室の実施など、積極的な事業運営に取り組んでいる。</p> <p>（維持管理） 毎日の見回りや定期的な点検による安全な施設運営に取り組んでいる。</p>			
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	<p>経理事務は本社決裁を必要としている。</p> <p>電気料やガス料など事業費の高騰を受けて指定管理者独自の節電目標を設定、更なる経費削減に努めている。施設各所に節電ポスターを掲示し、利用者にも節電に対する注意喚起を行っている。</p> <p>今年度から予約システムを導入・稼働となり、予約手続、収納まで一貫して行えるようになった。スポーツ施設(個人利用を除く)における予約システム決済率（R4.4～2月分）は約14.3%となっている。</p>		



		<p>全体の収支状況は新型コロナウイルスの影響はあるものの、安定している。しかしながら、世界情勢を巡る資源高やインフレ傾向、円安進行に伴い、電気料や燃料代などが急速に高騰、令和4年8月以降は財務を圧迫している。節電など一層の経費削減に取り組んではいるが、厳しい財務負担が続いている。</p>		
	施設所管課の評価	<p>施設の利用制限を撤廃し、安定した収支状況へ向かっていると見受けられる。経費削減については事業費高騰などの課題が残るが、より安定的な運営に向けた経理事務を意識していただきたい。</p>		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（トレーニングルーム利用人数の拡充）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（新たな自主事業教室の創設）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（スポーツ施設の新たな魅力づくり）は達成されたか	C	C
	目標項番④	追加目標（節電の集中対策実施）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度から親水・佐織トレーニングの利用人数10%増について、目標比で約2,420人・約10.3%の未達となった。R4.4月以降の市外個人が市内2倍料金となったこと、近隣に新設された24Hフィットネス等への流出が継続していると考えられ、特にトレーニングルームへの利用促進策が急務となっている。</li> <li>新たな自主事業教室の創設については、元プロ野球選手山崎武司氏を招いての「熱血ベースボール教室」（市内小学生を対象）を開催したほか、佐織体育館にてヨガ教室の新設、スポーツ施設の新たな魅力づくりについて、修景池周辺にて自然観察会を開催し、生息する植物や生物を観察した。そのほかフルーツロールケーキ作りなども実施した</li> <li>追加目標として、光熱水費高騰をうけ、スポーツ施設における集中節電対策を実施している。</li> </ul>		
	施設所管課の評価	<p>新たな自主事業の創設への積極的な姿勢がみられる。施設を活かした様々なイベントを開催するなど、今後もスポーツ施設としての魅力を引き出していきたい。</p>		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>（指定管理者の自己評価）</p> <p>愛西市スポーツ施設等では、体育館や観覧席等の人数制限の解除やマスク着用は任意となるなど新たな使用基準の下で運営している。利用に際して、引き続き基本的感染対策は継続しているが、ニューノーマルに向けた取り組みを行いながら開館（場）しており、利用人数で前年同期比約9.8%増となった。しかしコロナ前の平成30年比では全体で約22.6%減、特にトレーニング全体では約53.2%減となるなど、現在でも利用人数・利用金額に多大な影響が及んでいる。</p> <p>今後については、コロナ以前の利用状況にできるだけ戻るよう様々な取り組みを行っていく。</p> <p>（施設所管課の評価）</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響以前の利用状況に戻ることは困難であるが、今後とも自主事業の提案や、大きく減少しているトレーニングルーム利用者増加への施策など、民間としてのノウハウを活かした企画で利用者の回復に繋げていただきたい。</p>			

書式3 (総括評価票)

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部環境課 (内線：192)

施設名	愛西市総合斎苑	指定管理者名	あいさい市総合斎苑管理グループ
指定期間	令和3年 4月 1日～令和 8年 3月31日〔 5年 0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B	B
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
	財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C
	《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	今年度は火災警報器の発報が2回あったため避難訓練でも消防設備業者に協力いただき、警報が発報した場合に落ち着いて行動できる訓練を実施するなど現実的な訓練を試みた。		
	施設所管課の評価	個人情報について、適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を評価し付与されているプライバシーマークの更新において指摘事項がなく、また、個人情報保護士資格を取得していた職員がその上位資格に当たる上級個人情報保護士資格を取得し、職員の意識向上のための社内研修ができた。火葬中のトラブルの際に臨機応変な対応をし、滞りなく火葬を終えることができた。また、1月は、火葬件数が多かったが、火葬体制がとれているため、滞りなく火葬を終えることができた。業務日誌には、日常業務に対する課題についての改善事項等をわかりやすく記録し、様々な事案に関する改善事項等の情報共有を行うことができた。		

2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	備品のチェックでは備品シールが貼られていないものにも可能な限り貼ることとし備品管理を強化した。			
施設所管課の 評価	圧密沈下や備品故障に対する事故防止・安全確保を自主的に行い、来苑者に迷惑がかけられないようにすぐに対応した。 以前総合斎苑を利用された方で、利用者に対しての職員の対応が良かったので市外の方が総合斎苑を利用したいと希望された。職員全員の接遇レベルが高く利用者への応接が丁寧であり、故人への敬意ある対応が利用者の満足度を高めていると思われる。			
3 収 支 等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	これまでの指定管理実績に基づき、適正な経理事務を行った。収支においてもおおむね予算通りの実績となっており、妥当だと考えている。		
施設所管課の 評価	火葬件数が前年より大幅に増加したが、予算書の範囲内で経費を抑えた運営がされた。			

4 目標管理	目標項番①	目標項番①（火葬炉運転による事故発生件数）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（アンケート回収件数）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（ ）は達成されたか	—	—
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の 自己評価	<p>目標項番①は「火葬炉運転による事故発生件数1件」は今回の煙発生時にも、グループ本部や火葬炉メーカーとの連携と連携をとり大事には至らなかった。</p> <p>目標項番②は「アンケート回収件数30件」は前年度よりは多かったが、目標には達成できなかったの で引き続き目標とする。</p>		
施設所管課の 評価	<p>目標項番①は、火葬中のトラブルがあったが、火葬炉運転を支障なく行える技術を持った人員を配置しているため、煙発生時も大事に至らなかった。</p> <p>目標項番②は、アンケート件数は目標より少ないが、目的であるアンケートで指摘された内容を改善できるものは改善されており、よりよい運営ができています。</p>			
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>目に見えない部分の経年劣化が今後も発生してくる可能性もあることから、日々の点検でも少しの変化に気が付き計画的な修繕を実施する。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>毎日の施設内外の点検や巡回により、施設内の修繕箇所がすぐ分かり早急に対応ができた。経年劣化で、修繕すべき所がでてくると思うか計画的に実施し、市との連絡調整を密に進めるとともに、安心安全な施設運営に心がけていただきたい。</p>			

## 書式3 (総括評価票)

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 保険福祉部 高齢福祉課 (内線：159)

施設名	佐屋老人福祉センター	指定管理者名	コニックス株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日〔5年0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	感染防止対策を遵守する為、人員を増員して配置を行い利用者様の安心・安全・利便性の維持に配慮した施設運営を行った。年1回の「安全衛生研修」、「個人情報保護研修」、年2回の「消防、緊急対応訓練」を行い意識向上に努めた。			
施設所管課の評価	新型コロナ感染症対策のため、人員を増員して配置し、適切な管理がされている。			
2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	

	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	感染対策の徹底によりクラスターが発生する事無く運営が出来た。利用者数制限、自主事業の自粛等の影響で制約されたサービス提供となったが、アンケートより満足していただける結果を得られた。今後も、利用者様から更なる評価をいただけるよう、質の向上を目指していきたい。		
	施設所管課の評価	コロナ禍の中、感染防止に努めている。また、多くの利用者が訪れている中、苦情等に対しても適切に対応している。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	適切な施設維持が出来るよう、優先順位をつけて修繕を実施した。 光熱費、物価上昇する中で、利用者様のご協力も得ながら節電、節約を行い経費の抑制に努めた。		
	施設所管課の評価	光熱費高騰の中、節約に努め、適切に事務を行っている。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（新型コロナクラスターを発生させない）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（利用者満足度 95%以上）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（指定管理者独自事業開催日数 4日/月以上）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	コンタクトポイントの消毒実施、密を回避する呼びかけ、館内の換気を徹底することでクラスターの発生は防げた。従業員の態度・対応については高評価をいただいた。自主事業についても制限がある中で可能な限り実施を継続することが出来た。		
	施設所管課の評価	感染防止に向けて、利用者へ向けてのアナウンスができています。 アンケートでの高い評価を継続できるように、次年度の運営に期待する。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>感染対策が継続する中、適切な対応・処置を徹底し利用者様が心身の健康と保持及び増進が図れるよう、施設運営に寄与することが出来た。自主事業、イベント等は制約があった為、十分な開催が出来なかったが、緩和後は利用率と満足度の向上に貢献出来るよう企画運営していきたい。施設、備品等の老朽化が進み対策に苦慮したが、運営が滞る事無く快適に利用していただけるよう優先順位をつけ修繕を行うことが出来た。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>コロナ禍において、特に感染対策が要求される高齢者施設の指定管理者として、人員を増員し、定期的な消毒をするなど新型コロナ感染症対策を徹底し、業務を滞らせることなく適正な施設管理・運営ができています。</p>			

書式3 (総括評価票)

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 保険福祉部 高齢福祉課 (内線：159)

施設名	愛西市佐織総合福祉センター	指定管理者名	ホームックス株式会社名古屋支店
指定期間	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日〔 5年 ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能なお状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員体制：職務が滞ること無く、即時人員確保を図った。</li> <li>・緊急対応：定期的に訓練を行い、緊急時に直ちに措置を講じ、未然に防ぐことが出来た。</li> <li>・財政状況：計画的に事業を進め、業務の遂行を図った。</li> </ul>			
施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書以上に人員が配置されている。</li> <li>・点検、修繕の記録がしっかり管理されており、経歴が一目瞭然である。</li> <li>・連絡調整等は社内でも徹底されており、担当課への報告も適宜行われている。</li> </ul>			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。		C	C	
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	

	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者対応：新型コロナウイルス緩和措置に対し、早目の対応措置を講じ、利用者に対し混乱を招くことなく行えた。</li> <li>苦情等対応：真摯に受け止め対応し、できることは遅滞なく実施し、できない事は、相手方の立場に立ち理解を求めた。</li> </ul>		
	施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル予防教室・認知症予防講座を新規の自主事業として実施しており、積極的に新規事業を実施している。実施されている事業についても満足度が高く、利用者アンケートの結果を受け改善に努めている。</li> <li>光熱費が高騰する中、省エネ設備（LED）への切替、節電・節約への対応を実施しており、環境負担の軽減・省エネルギー対策へと繋げている。</li> </ul>		
	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
3	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	B	C
	指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費縮減：電気料金の高騰に向け、LEDへの切替、不必要な蛍光灯の消灯及び適温の冷暖房調整を行い、電気使用量を抑えることが出来た。</li> <li>収支状況：電気料金等の高騰加味がなされたが、事業実施に当たり、周到な吟味を行い、また収支については、積極的な修繕等を実施しながらも、安定した収支状況を保った。</li> </ul>		
施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の修繕については、自社で可能な部分は実施し、施設の適正な運営を心掛けている。また、経費縮減のため、原因となる漏水箇所の調査を行い、修繕を実施することで今後の水道使用量を大幅に縮減できることが見込まれる。さらに、LED化や、節電・節水への意識も高く使用量の縮減へ努めている。</li> </ul>			
4	目標項番①	目標項番①（老人福祉センターの利用者の増加）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（自主事業（介護、認知）計画の実施）は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（管理経費の縮減に努める）は達成されたか	B	B
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>①：新型コロナ禍での年であったが、自主事業や団体活動が活発であったので102.6%の達成率であった。</li> <li>②：今年度介護関係講座（フレイル予防・認知症予防）講座を取り入れ、また、従来の自主事業も実施できた。</li> <li>③：LED化及び無駄を省き高圧業務用電力4%カット、漏水修繕及び節水を図り使用量を約1/3に抑えた。</li> </ul>		
施設所管課の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中でも自主事業等を積極的に実施し目標を達成した。</li> <li>LED化を実施するとともに、節電への意識も高く電力量縮減へと繋がっている。また、漏水箇所の修繕については迅速な対応により、水道使用量の縮減に繋がっている。</li> </ul>			
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C



<p>6 特記事項</p>	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>利用者の方に快適に過ごしていただくために、意見を出し合い、少しでもより良い施設へと従業員一丸となって対応しています。</p> <p>また、施設の管理においても、一人一人が不具合の箇所等の点検を行い、安全な施設を目指しております。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>協定書・事業計画書に基づき適切に管理されているだけでなく、常に来館者、利用者の目線になって接遇しており、社員の教育が徹底されている。施設の修繕については自社で対応できる部分については、迅速に対応し、原因の追究に努め、その結果、経費縮減として成果を上げている部分も認められる。また、館内の清掃等にも気を配っており、佐織総合福祉センターの管理運営を適切な状態で運営している。</p>
---------------	--

書式3 (総括評価票)

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：教育部 生涯学習課 (内線：362)

施設名	愛西市中央図書館	指定管理者名	特定非営利活動法人 まちづくり津島
指定期間	令和2年 4月 1日～令和7年 3月31日〔3年 月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能なる状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	佐織図書館の委託業務も2年目になり、スタッフの配置等もスムーズに行う事が出来た。 生涯学習課・公民館との連絡調整も上手く行え、運営する事が出来た。			
施設所管課の 評価	新型コロナウイルス関係において、急な職員の休みにおいても図書館サービスに滞りのないように対応されている。職員間においても定期的に司書会を行う等情報の共有に努められている。			
内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B	

	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	B	B
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	システム更新・空調工事の為に臨時休館により開館日数が減少したが、利用者数は増加した。館内の環境を良くするため、LED化にも努めた。		
施設所管課の評価	新しく導入した図書館システムについて「愛西市図書館活用ガイド」を作成して利用者に案内している。また、「お知らせ」機能を活用した案内（開館時間の延長等）や「図書館日記」を利用しておすすめ本を紹介するなど、ホームページを活用した広報活動が積極的に行われている。			
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	光熱水費の節減に努め、環境整備を行うなど、工夫を凝らす努力をした。		
	施設所管課の評価	館内のLED化（令和4年は2階トイレ周りの天井）や、必要のない部分の電球を間引きするなど、省エネルギー及び光熱水費の節減に努められている。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（貸出点数）は達成されたか	A	B
	目標項番②	目標項番②（入館者数）は達成されたか	A	B
	目標項番③	目標項番③（読書奨励事業）は達成されたか	A	B
	《4 総括》	目標管理に関する評価	A	B
	指定管理者の自己評価	引き続き感染予防対策を徹底した上で、停止していたサービス等を徐々に元に戻し、貸出点数・入館者数は、目標を上回る値で達成する事が出来た。		
	施設所管課の評価	貸出点数、入館者数、読書奨励事業等、目標を上回る成果をだせた。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>依然としてコロナ禍ではあったが、出来る範囲での運営が行えた。又、利用者に対し、選書しやすいコーナー等を設置し、サービスの工夫も行う事が出来た。</p> <p>(施設所管課評価)</p> <p>新図書館システムに変更するために、打合せでは指定管理者からも利用者の視線に立った意見を述べ、システムの構築をおこなうことができた。</p> <p>11月より新図書館システムになり、その周知など利用者によりわかりやすく行われた。</p>			

## 書式3 (総括評価票)

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 教育部 生涯学習課 (内線：362)

施設名	愛西市文化会館	指定管理者名	ホームックス株式会社名古屋支店
指定期間	令和 4年 4月 1日～ 令和 9年 3月 31日〔 5年 0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	LED化の計画を進めている中、急な故障等による修理が発生し計画通りに行かないこともあるが、修理費残額により外部委託事業者との相談交渉の結果、最終的に予算内に収めることができた。			
施設所管課の 評価	設備の点検を適切に行い、修繕が必要となった場合は速やかに報告を行い対応された。 業務管理日誌についても詳細に記載されている。			
2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	B
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		B	B	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	B	
苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	

		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	B	B	
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
	指定管理者の自己評価	事故防止の為に年1回の安全パトロールを行い、本社担当者が来館し、館内のチェックを実施している。第三者の目で確認の上、指摘事項の修正を行っている。 利用状況については、目標も達成し来館者数も伸びてきている。			
	施設所管課の評価	館内の清掃が行き届いており、適切な維持管理がなされている。 また、施設のLED化についても計画的に実施している。 自主事業については、チラシのデザインが工夫されており見やすいものとなっている。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	コロナ禍ということもあり、予算立てに苦労したが、日頃の積み重ねにより達成することができた。		
		施設所管課の評価	経理事務については適切に行われている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①(利用者数 49,000 人/年)は達成されたか	A	B
		目標項番②	目標項番②(利用回数 2,800 回/年)は達成されたか	B	B
		目標項番③	目標項番③(指定管理者事業回数 25 回/年)は達成されたか	B	B
		《4 総括》	目標管理に関する評価	B	B
		指定管理者の自己評価	利用者数 82,158 人、利用回数 2,820 回、指定管理事業回数 38 回と全て目標を達成した。 光熱費等高騰の影響により、高騰分を指定管理料として頂いたものの非常に厳しい状況であったが、売上収入面で目標を達成することができた。		
		施設所管課の評価	前年度より高い目標設定としていたが、すべての項目において目標数値を上回り、特に年間利用者数については目標を大幅に超える結果となった。		
		5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価) 総合してバランスよく管理運営ができた。利用者や利用団体の方々のご協力をいただいたことに感謝したい。  (施設所管課の評価) 館内の清掃が行き届いており、利用者の評価も高いこと、また、デジタルサイネージを導入し利用者の利便性の向上に努めたことを評価します。 自主事業についてはアンケートによる分析を行っており、今後も利用者のニーズをとらえた事業の実施を期待しています。			

書式3 (総括評価票)

4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：上下水道部 下水道課 (内線：513)

施設名	東八幡町地域し尿処理施設	指定管理者名	東八幡浄化センター
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日〔5年0ヶ月〕		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。		C	C	
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能なお状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	協定書、事業計画書に従って管理できた。			
施設所管課の評価	おおむね良好に遂行されている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	—	—
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	—	—
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	—	—
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	—	—	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
	指定管理者の自己評価	事業計画に沿って、修繕も行われ適切に管理している。			
	施設所管課の評価	おおむね良好に遂行されている。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	適切に処理している。		
		施設所管課の評価	おおむね適切に処理されている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（施設稼働率）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（ ）は達成されたか	—	—
		目標項番③	目標項番③（ ）は達成されたか	—	—
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標として掲げた内容については、達成された。		
		施設所管課の評価	目標は達成されている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価) おおむね良好です。  (施設所管課の評価) 地域との連携も図られており、良好に施設管理がされている。			

書式3 (総括評価票)

4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：上下水道部 下水道課 (内線：513)

施設名	西八幡団地地域し尿処理施設	指定管理者名	西八幡団地浄化センター管理組合
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日〔5年0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	協定書、事業計画書に従って管理できた。			
施設所管課の評価	おおむね良好に遂行されている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	—	—
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	—	—
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	—	—	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—	



	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	—	—	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
	指定管理者の自己評価	事業計画に沿って、修繕も行われ適切に管理している。			
	施設所管課の評価	おおむね良好に遂行されている。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	適切に処理している。		
		施設所管課の評価	おおむね適切に処理されている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（施設稼働率）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（ ）は達成されたか	—	—
		目標項番③	目標項番③（ ）は達成されたか	—	—
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標として掲げた内容については、達成された。		
		施設所管課の評価	目標は達成されている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価) おおむね良好です。  (施設所管課の評価) 地域との連携も図られており、良好に施設管理がされている。			

書式3 (総括評価票)

4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：上下水道部 下水道課 (内線：513)

施設名	諸桑団地地域し尿処理施設	指定管理者名	諸桑団地浄化センター
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日〔5年0ヶ月〕		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経歴等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。		C	C	
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の 自己評価	協定書、事業計画書に従って管理できた。			
施設所管課の 評価	おおむね良好に遂行されている。			
2 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	—	—
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	—	—
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	—	—
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	—	—	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	—	—	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
	指定管理者の自己評価	事業計画に沿って、修繕も行われ適切に管理している。			
	施設所管課の評価	おおむね良好に遂行されている。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	適切に処理している。		
		施設所管課の評価	おおむね適切に処理されている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（施設稼働率）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（ ）は達成されたか	—	—
		目標項番③	目標項番③（ ）は達成されたか	—	—
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標として掲げた内容については、達成された。		
		施設所管課の評価	目標は達成されている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価) おおむね良好です。  (施設所管課の評価) 地域との連携も図られており、良好に施設管理がされている。			

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	永和地区防災コミュニティセンター	指定管理者名	永和学区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画通りに行い業務遂行することができました。			
施設所管課の評価	事業計画通り、適切に運営を行えた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	B
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	利用者からの苦情もなく、施設管理も問題なしに行われた。		
		施設所管課の評価	利用者からの要望等、遅滞なく市に報告を行い、施設管理もできた。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	予算の範囲内で、適正に会計処理が行なわれた。		
		施設所管課の評価	収支状況が適切にまとめられており、予算執行に努めた。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：20,000人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：1,494,000円）は達成されたか	C	B
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標設定を行い目標達成に努めた結果、利用料金収入の目標を達成する事が出来た。		
		施設所管課の評価	利用者数は、目標が達成できなかったものの、増加をしている。利用料金収入も昨年度より増加をしており、引き続き、期待する。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		協定書管理基準に従い概ね管理運営が行われ、利用者からの苦情もなくアンケート調査の評価も高かった。			
		(施設所管課の評価)			
		利用者数も増加をしていることから、管理者としての努力がみえる。アンケート結果からも利用者の満足度が高いことから、引き続き、管理業務を行い、利用者の利便性を高めるよう努めてほしい。			

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	西保地区防災コミュニティセンター	指定管理者名	西保地区防災コミュニティセンター運営協議会
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日 【5年】		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画に沿って、人員配置等を実施し、業務を遂行した。			
施設所管課の評価	事業計画通りに問題なく安定した業務を行えた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	

2	内容・水準	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
		苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	利用者に対して、事務員が適切に対応を行い、施設管理においても適切に行えた。		
	施設所管課の評価	アンケートから利用者に対し、職員の対応も良好であり、施設が清潔清掃されてると多く回答があり、適切に管理運営できた。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	予算の範囲内で業務運営をすることができた。		
		施設所管課の評価	光熱水費や物価の高騰等を踏まえ、予算内で業務運営ができています。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：8,000人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：661,000円）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	利用者・料金収入の目標が達成でき、十分に満足できる運営ができた。		
		施設所管課の評価	コロナ禍が終息に向かっている中、利用者・料金収入の目標が達成できていた。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		概ね管理運営を行うことができ、利用者数・料金収入の目標を達成ができた。今後も事務員を含め利用者の利便性を高めていく。			
		(施設所管課の評価)			
		管理運営を安定し行えており、利用者からのアンケート調査でも、清掃や職員の対応等、満足していただいている。今後も引き続き、利用者の利便性を高めていただきたい。			

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	勝幡地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	勝幡地区コミュニティ推進協議会
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	人員体制を整え、事務職員の努力により、問題なく運営ができています。			
施設所管課の評価	計画に基づき適切に人員を配置し、管理記録や報告業務等が支障なく実施できている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	



2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	利用許可や案内等を適切に行い、管理人を通じて、利用者の利便性を高めている。		
		施設所管課の評価	利用者への対応や案内等が適切に実施されており、利用者が利用するにあたって支障がない。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	B
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	燃料費の高騰を踏まえ、予算執行状況を随時確認をし、適切に運営を実施できていると思われる。		
		施設所管課の評価	光熱水費について、光熱水費の高騰や利用者の増加に伴い、当初の光熱水費の予算は超えたものの、大幅に超えず、運営上の努力が見られる。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：8,600人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：700,000円）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	新型コロナウイルス感染の影響もあったが、施設利用は増加されており、利用料金も予算を上回る額を確保することができた。		
		施設所管課の評価	感染症の影響により、利用者数は目標に達しなかったものの、利用料金収入の確保ができ、目標に達している。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		概ね適正に運営している。光熱水費の高騰が見込まれたため、経費削減を行った結果、収入が指定管理委託料の15%を超えて残った。			
		(施設所管課の評価)			
		収支から経費削減の努力が見られ、光熱水費の高騰について検討されていた。コロナ禍が終息に向かっている中、利用者が増加しており、利用料金収入については、目標が達成できている。次年度以降、予算の範囲内で利用者の利便性が向上するように期待する。			

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	町方地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	町方地区コミュニティ推進協議会
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	B	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	B
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画に従い、業務に必要な人員を確保し、情報について台帳等を整理し管理をしている。			
施設所管課の評価	事業計画に従い、適切に人員配置を行い、情報を管理し、必要に応じて適切に公表できている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C	
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C	
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C	
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C	
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C	
		指定管理者の自己評価	開館時間等を遵守し、利用者に対して、言葉遣いなど適切に対応をしている。			
		施設所管課の評価	アンケートから利用者の満足度も高く、利用者に対し、言葉遣いを含め適切に対応をしている。			
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	C	
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	C	
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C	
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C	
			《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
			指定管理者の自己評価	予算の範囲内で適正に執行ができ、通帳や出納簿にて適切に経理事務を行った。		
			施設所管課の評価	光熱水費等の高騰があったが、予算の範囲で運営ができています。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：6,100人）は達成されたか	C	D	
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：334,000円）は達成されたか	C	B	
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C	
			《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
			指定管理者の自己評価	利用者数においては、目標が達成できなかったが、料金収入は目標を達成できた。		
			施設所管課の評価	コロナ禍が終息に向かっており、利用者数においても回復を始めているが、目標数を大きく下回ったが、利用料金収入においては、目標を達成することができた。アンケートの回答からも、職員が利用者にとって適切な対応をし、運営している。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C	
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)				
		事業計画に沿って、適切に管理運営をすることができ、利用者が不便にならないよう対応することができた。				
		(施設所管課の評価)				
		アンケートから利用者の満足度も高く、職員の対応についても好評であり、光熱水費等の高騰も踏まえ、適切に予算執行を行っている。コロナ禍も終息に向かっており、利用者数も回復すると見込まれるため、今後も利用者の利便性を高めて業務を遂行してほしい。				

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	川渚地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	川渚地区コミュニティ推進協議会
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日〔5年〕		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	感染拡大予防対策を徹底し事業を遂行することができた。			
施設所管課の評価	事業計画通り、適切に管理運営を遂行できた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	事業計画どおり開館、開始時間を遵守をし、言葉遣い等も適切に行えたが、利用者からの要望に応えられない部分もありました。		
		施設所管課の評価	利用者アンケートの結果も良好であり、服装や態度等適切であった。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	適正な予算執行により会計処理ができた。		
		施設所管課の評価	適切に予算執行をしており、問題なく運営ができた。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：3,500人）は達成されたか	C	B
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：329,000円）は達成されたか	C	B
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	B
		指定管理者の自己評価	利用者も増え利用者の満足度は良好であった。		
		施設所管課の評価	利用者数や利用料金収入について、目標を超えており、利用者のアンケート結果からも満足度が高かった。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		新型コロナウイルス感染防止の影響により諸活動に制約がかかったが遂行できた。			
		(施設所管課の評価)			
		コロナ禍が終息に向かっていく中、利用者数、利用料金収入ともに目標を達成できている。職員の努力により適正な予算執行のもと、管理運営がされていた。			

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	草平地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	草平地区コミュニティ推進協議会
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画どおり管理運営について業務を行うことができた。			
施設所管課の評価	事業計画に基づき、支障なく業務ができ、書類等適切に管理されていた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	計画通り業務を遂行できた。		
		施設所管課の評価	計画通りに業務が遂行でき、アンケートからも職員の対応について良好な結果だった。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	予算内で業務を遂行ができ、経費を抑えることができた。		
		施設所管課の評価	光熱水費が予算を超えていたが、その他経費削減により、問題なく運営ができていた。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：4,600人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：333,000円）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	B
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標について、全て達成できた。		
		施設所管課の評価	全ての目標について、達成ができており、利用者の満足度が高く、引き続き、業務を行っていただきたい。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		新型コロナウイルスの影響が少なくなり、目標が達成ができ、管理運営についても問題なく実施できた。			
6	特記事項	(施設所管課の評価)			
		管理体制が安定しており、利用者数も増加している。引き続き、利用者の利便性を上げ、サービス向上に努めるよう業務を遂行してほしい。			

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	藤浪地域防災コミュニティセンター	指定管理者名	藤浪地区コミュニティ推進協議会
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日 【5年】		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	施設管理に支障がないよう管理が行えた。			
施設所管課の評価	事業計画通りに、管理運営を行えた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	



2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	利用者に不便のないよう、業務を行えた。		
		施設所管課の評価	アンケート結果からも、清掃等の施設維持管理に努めており、その他維持管理も適切に行えた。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	間違いがないよう、適正に予算執行している。		
		施設所管課の評価	計画的に執行しており、適切な予算執行を行えている。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：23,500人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：1,596,000人）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標が達成されるよう努力を行った。		
		施設所管課の評価	利用料金収入や利用者の満足度において目標を達成できており、利用者も昨年度より増加をしている。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		利用者の立場に立ち、適切な管理運営に努めた。			
6	特記事項	(施設所管課の評価)			
		問題なく管理業務を遂行した。利用者の増加も踏まえ、利用料金収入も目標が達成ができているため、引き続きサービスの向上に努めるとともに、業務の遂行を期待したい。			

## 書式3（総括評価票）

## 令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：市民協働部 市民協働課（内線：172）

施設名	市江地区コミュニティセンター	指定管理者名	市江小学校区コミュニティ推進協議会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年）		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
		緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	事業計画通りに体制を整え支障なく行うことができた。			
施設所管課の評価	事業計画通り、業務を遂行でき、支障なく管理運営ができた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	—
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

2	内容・水準	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
			苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
		利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
		《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	計画通り事業を遂行ができ、利用者アンケートも良好であった。		
		施設所管課の評価	アンケート結果から、利用者に対して利用許可や案内、備品の提供等含め適切に業務を行うことができた。		
3	収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
		経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
		《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	経費縮減に努め、予算の範囲内で適正に会計処理が行えた。		
		施設所管課の評価	経費縮減に努め、安定して運営ができた。		
4	目標管理	目標項番①	目標項番①（1年間の利用者数：12,000人）は達成されたか	C	C
		目標項番②	目標項番②（1年間の利用料金収入：800,000円）は達成されたか	C	C
		目標項番③	目標項番③（利用者満足度の「満足」「まあ満足」の割合：90%）は達成されたか	C	C
		《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
		指定管理者の自己評価	目標項目において、利用者の満足度は達成することができた。		
		施設所管課の評価	コロナ禍が終息に向かっていいる中、目標は達成できなかったが、利用者が昨年度より増加し、回復に向かっていいる。		
5	総合評価	「1 実施体制」「2 内容・水準」「3 収支等」「4 目標管理」の総括による総合評価		C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価)			
		協定書管理基準に従い概ね行われた。コロナ禍により収入が減ったが、利用者数は昨年度より増加しており、利用者の満足度は高かった。			
		(施設所管課の評価)			
		利用料金収入が昨年度より減少したが、経費削減に努め、安定した管理運営ができた。利用者数が昨年度より増加していることから、引き続き安定をした管理運営を期待したい。			

書式3（総括評価票）

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：産業建設部 産業振興課（内線：581）

施設名	愛西市立田地域交流拠点施設	指定管理者名	立田ふれあいの里運営連絡協議会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日〔5年0ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経歴等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	市、商工会等と連携を図り、事業計画に基づき適切に事業を実施した。			
施設所管課の評価	事業実施の体制に問題はなく、今後も適正な管理運営に努めていただきたい。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	D
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	B
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響により規模縮小してきた自主事業（販売促進事業）について、開催日数を大幅に拡大し、施設利用者に喜んでいただけるよう、誠意を持って対応した。		
	施設所管課の評価	昨年度と比較し、イベント回数が大幅に増加したことは、大変評価できる。施設利用者に喜んでいただけるよう引き続き、運営努力を継続していただきたい。 昨年度に引き続き、施設を利用する時間帯によって商品が品薄になる状況が見受けられること、また、天候等の影響により、各テナントの自己判断により休業、営業時間短縮が行われている実態は、直ちに改善していただく必要があるため、対策を講じること。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	収支については、適正に行っている。		
	施設所管課の評価	適正な管理がされており、問題は見受けられない。また、協定に定めた納付金についても、一定の売上を確保していただき、本年度も満額市へ還元されたことは評価できる。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（来場者数（レジ通過者数）の増加）は達成されたか	D	C
	目標項番②	目標項番②（イベントの実施回数の増加）は達成されたか	B	B
	目標項番③	目標項番③（会員数の増加）は達成されたか	D	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	目標項番②において、当初の計画（9回）と比較し、15回実施し、利用者に喜んでいただいた。		
	施設所管課の評価	目標項番①、③については、新型コロナウイルス感染症や、農業従事者の減少等の影響により、目標に掲げた数値が達成された訳ではないが、目標項番②におけるイベント実施回数の増加など、目標に向けた姿勢は評価できる。		
5	総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価	C	C
6	特記事項	(指定管理者の自己評価) 市及び商工会等と連携を図り、新たなイベントを企画するなど、さらなる利用者の満足度向上を目指していく。 (施設所管課の評価) 協定書、事業計画書に基づき、概ね適切な管理運営が行われている。今後は、SNSによる情報発信やキャッシュレス決済への対応など、利用者サービスの更なる向上を期待する。		

書式3（総括評価票）

4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：保険福祉部 社会福祉課（内線：140）

施設名	八開総合福祉センター	指定管理者名	愛西市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日〔5年ヶ月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C
緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	管理日報の管理、災害緊急時の訓練も行い、詳細な報告も適切に行う事が出来た。 12月後半からお風呂の休止などがあったが、点検など計画的な実施を心掛けた。			
施設所管課の評価	機器点検等、適切に実施している。 管理簿・報告書類など適切に作成されている。研修や緊急時の訓練も行われており概ね適正に行われていた。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。		C	C	
協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。		C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	
広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C	

	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	C	C
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	館内における利用者の要望や苦情に対し、早急に対応するようにした。 新型コロナウイルスの影響や、お風呂の休止など、館内の利用減少を止めることは難しかった		
	施設所管課の評価	仕様書による衛生管理や保守管理が適切に行われている。修繕についても市と調整し優先度を考えて行っており概ね適正に行われている。		
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	D
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	12月後半から設備の故障により入浴施設を休止したため、光熱水費の減少が顕著であったが、燃料費高騰を意識し館内での節電など経費削減を徹底した。 入浴施設の休止に伴う業務の調整不備はあったが、概ね適正に処理を行った。		
	施設所管課の評価	事務処理の過程に一部改善を求める箇所が認められたが、概ね妥当な処理がなされていた。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（利用者数5,000人）は達成されたか	C	C
	目標項番②	目標項番②（アンケートの職員対応「不満」「やや不満」10%未満は達成されたか	C	C
	目標項番③	目標項番③（年間光熱費6,710,964円未満）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	コロナウイルス、お風呂の休止等の影響で、利用者が減少した。 アンケート結果は満足の回答がほとんどだった。		
	施設所管課の評価	目標①については4,500人以上の利用があったものの、前年度と比べて利用者減となり目標達成には至らなかった。目標②については達成できた。目標③については、12月後半よりお風呂を休止したことで、減少し燃料費高騰ではあったものの当初予算内で達成できた。 コロナウイルスの影響やお風呂の休止で利用者が減少しているが、カラオケ利用やサロン活動など少しずつ回復してきており、今後アンケート数も増やしていくことが必要。 管理・運営については概ね適正に行われている。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	<p>(指定管理者の自己評価)</p> <p>若干コロナも緩和されてきて、前年に比べ健康体操など館内利用者が増えてきていたが、冬期から入浴施設の休止の影響で、前年の利用者数をクリアすることが難しかった。センターの利用に関しては引き続き、感染症対策を行い、利用者に安心して来館してもらえよう努めた。</p> <p>(施設所管課の評価)</p> <p>施設管理、経理事務については概ね適正に行われている。お風呂の中止で利用者が減ってきており、今後お風呂利用以外の健康体操などの利用者が増加するよう検討してほしい。</p>			

書式3 (総括評価票)

令和4年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課： 教育部 生涯学習課 (内線：363 )

施設名	愛西市永和地区公民館	指定管理者名	公益社団法人 愛西市シルバー人材センター
指定期間	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日〔5年 月〕		

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験等を有する職員が確保されている。	C	C
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、適切である。	C	C
		外部委託事業者に対して、協定書等を遵守させている。	C	C
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	C	C
	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されている。	C	C
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	C	C
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	C	C
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	C	C
	管理記録	業務に関する管理日誌等を適切に整備、保管している。	C	C
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	C	C
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	C	C
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	C	C	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	C	C	
	緊急時または危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	C	C	
財務状況	指定管理者自身の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	C	
《1 総括》	業務の実施体制に関する評価	C	C	
指定管理者の自己評価	概ね良好な管理運営をしている。			
施設所管課の評価	本所及び支所とによる役割分担や協力体制が築けており、概ね良好な管理体制となっている。			
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	C	C
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	C	C
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	C	C
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	C	C
	事業運営	事業計画書に即し、受託事業を実施している。	C	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	C	C
		内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	C
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	C	C
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	C	C
	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	C	C	
	協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C	C	
環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	C	C	



	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	C	C
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	C	C
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	C	C
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	C	C
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準である。	D	D
	《2 総括》	業務の内容・水準に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	コロナウイルス感染症のため利用者数・稼働率は下がっているが、他は概ね適正な内容・水準である。		
施設所管課の評価	アンケート調査による指摘事項を改善するなど、適正水準を保つ努力がみられる。			
3 収支等	経理事務	専用の口座、通帳等を備え、適切に経理事務を行っている。	C	C
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C	C
	経費縮減	経費が縮減され、またはその縮減に向けた努力を行っている。	C	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
	《3 総括》	経費の収支等に関する評価	C	C
	指定管理者の自己評価	概ね良好。		
	施設所管課の評価	社会全体における光熱水費の高騰による指定管理料の増額があったものの、概ね良好な収支状況である。		
4 目標管理	目標項番①	目標項番①（利用者数 12,000 人/年）は達成されたか	D	D
	目標項番②	目標項番②（利用回数 800 回/年）は達成されたか	D	D
	目標項番③	目標項番③（公民館講座 4 回/年）は達成されたか	C	C
	《4 総括》	目標管理に関する評価	D	D
	指定管理者の自己評価	コロナウイルス感染症のため、利用者数・利用回数が減っている。		
	施設所管課の評価	新型コロナウイルスによる利用者数利用回数の減も考えられるが、コロナ前利用者数利用回数の平均数値や当該年度のイベント予定などを加味し、目標数値の見直しも視野に含めるべきと考える。		
5 総合評価	「1実施体制」「2内容・水準」「3収支等」「4目標管理」の総括による総合評価		C	C
6 特記事項	(指定管理者の自己評価) 概ね良好である。  (施設所管課の評価) 4目標管理について見直しの余地があると考えられるものの、他は良好な運営がなされている。			